



総務省

Ministry of Internal Affairs  
and Communications

## 地域人材ネット

地域再生における現場力のある人財と組織の向上術  
～波佐見グリーンクラフトツーリズムに見る人財と組織～

井手 修身 ( いで おさむ )  
イデアパートナーズ株式会社 代表取締役社長



### ○登録者情報

所在地

福岡県福岡市

略歴

- 1986年 株式会社リクルート 入社  
1996年 「地域から日本を変える」運動に目覚め、リクルート社内 の新規事業で「地域活性事業部」を設立する。  
東京を拠点に観光振興、まちづくり、UIターン人材誘致等の領域で、東京都多摩ニュータウンの事業者誘致や熊本県水上村「水の上の学校」など全国数多くのプロデュースを手がけ、実績を上げる。  
しかし創部6年目、ビジネスモデルが描けない、利益の見込みがないことで、事業部廃止へ。  
2004年 旅行情報「じゃらん」事業にて、九州観光振興プロデューサーに就任。  
観光業界向け『観光会議きゅうしゅう』を編集長として創刊する。  
2006年 「人材×マーケティング」で観光・集客事業の再生を行う会社 『アイデア(IDEA)パートナーズ(株)』を起業し、九州を中心に旅館・ホテルの再生支援と地域活性化のプランニングに携わる。  
年間200回以上、企業・地域の現場に入り、住民と共に汗をかいている。  
JR全日空ハウステンボスホテル、長崎県小浜温泉の旅館をはじめとする数件の宿再生、国内でログステイ・滞在型観光を楽しむ「おとなの長旅・九州」などのしかけを実践中である。  
長崎県波佐見町 陶磁器産業の地域再生のプロデュースなど実績多数。  
2010年 『NPO法人アイデア九州・アジア』を設立し、九州とアジアを繋ぐ新しい中間支援組織を仕掛け。2010年11月に福岡の街を飲み食べ歩きするまちづくりイベント「バルウォーク福岡」を開催する。

- ・観光庁『観光地域づくりプラットフォーム』 委員・アドバイザー
- ・内閣官房『地域活性化伝道師』 全国の地域活性化を手がける専門家
- ・総務省『地域力創造アドバイザー』 全国の地域を支える人材の育成・活性化の専門家

・経済産業省『地域中小企業サポーター』中小企業の地域資源活用型取組みを実践・支援する専門家  
他

## 著書・論文等

「都道府県展望」2009年3月号、「地域づくり」2009年2月号、「旬刊旅行新聞」2007年6月より7回連載、「週刊トラベルジャーナル」2006年6、7、8、9月号連載、「九州マーケティング・アイズ」2009年1月号他

## ○ 地域再生における現場力のある人財と組織の向上術 ～波佐見グリーンクラフトツーリズムに見る人財と組織～

### 取組の内容

※私は、組織づくりとマーケティングのプロであり、直接現場に入って実績を生み出すパートナーです。

・「波佐見はホント元気になったバイ！」今年の3月、文化の陶「四季舎」4周年記念式での声である。  
波佐見町は、波佐見焼として400年の歴史を持つ陶磁器産業の町である。  
しかし、陶磁器産業は、不況の波からピーク時200億円あった生産高は約3割近くまで落ち込んだ。  
もう1つの基幹産業の農業も同様に厳しい。両産業とも「作れば売れる」時代背景に乗り、消費者と対面しての生産体制でなく流通業者に頼った販売体制が、大きな原因だろう。

・この課題解決に挑んだのが、NPO法人「波佐見町グリーンクラフトツーリズム研究会」の深沢清会長と児玉盛介副会長だった。  
彼らは住民を中心に農業と窯業（農業体験、陶芸体験）を組み合わせたグリーンクラフトツーリズム(GCT)活動を始めていた。  
しかし、地域住民への認知や理解、とりわけ窯業関係者の理解が希薄だった。「ツーリズム？ 交流？ それが窯業再生に役に立つわけがない」と。



波佐見町 改修前の窯元・工場跡 みんなで改修



文化の陶「四季舎」:約400万円で改修

## 実績

- ・彼らは活動を加速させて、2004年1月にNPO法人を発足させ、活動の母体組織を作った。
- ・窯元工場跡の廃屋を活動拠点に、行政の補助金に頼らず400万円の資金を集め、自分たちの手でリフォームして、着工からわずか4カ月で文化の陶「四季舎」を完成させた。(建物を見ると実際は10倍近い費用を要したであろう)
- ・「四季舎」では、女性グループによる地元料理「はさみ焼御膳」の提供や、陶芸・ピザ焼き体験、まち歩き等のプログラムを提供している。この活動は瞬間にマスコミ、メディアに取り上げられ、わずか1年で自主運営(黒字化)の軌道に乗るに至った。
- ・第二弾として、約2000坪の廃屋窯元工場跡を、「花わくすい」というギャラリー、カフェ、販売店に転換させた。

### 【平成27年度実績】

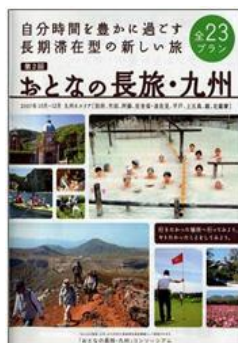
高松観光まちづくりワークショップ実施、防府市観光まちづくりPF構築調査、有田町観光人材育成事業、広域観光周遊ルート九州ブロック会議委員、地方創生PT 外国人観光客の消費拡大仕組みづくりWGリーダー、嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会副座長  
(講演)

「人材×組織×マーケティングによる観光活性化戦略」について(鹿児島市)、「自立化したDMOと観光まちづくり」(観光庁)、「地域ブランドの創造と担い手」(全国市町村研修財団)、「住民・行政・来訪者の三方良しのまちづくり戦略」(自治労)、「人材×組織×マーケティングによる観光活性化戦略」(東北未来創造イニシアティブ)、「佐賀の未来を描く～潜在的な魅力と新しい価値観～」(公益社団法人日本会議所)

## 工夫した点や苦労した点

〈波佐見再生の成功要因〉

- ・2人の活動がNPO法人という組織で地域に理解され、支援者が増えた。
- ・最小の投資で造った文化の陶「四季舎」が窯業に地域資源を組み合わせ、サービス産業へ転換するきっかけを作った。
- ・このような自立型、内発型な活動は行政とのWin-Win(両者が共にうれしい)の関係を構築できること。
- ・これらの仕組みづくりを応援した外部プレーンの存在。→ここが私でしょうか。



日本で先駆けの長期滞在型観光、「おとなの長旅・九州」事務局



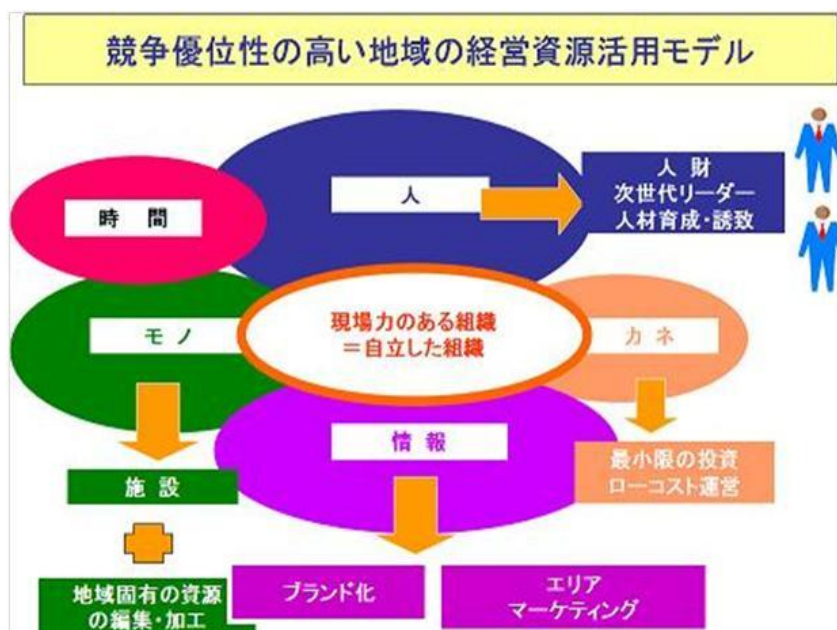
南阿蘇村 「ただのいなかじゃーなかよ」ポスター作成

## ひとつことPR

地域や中小企業に今必要なのは、自ら課題を発見して解決していく「現場力のある人材・組織」と価値を高める「マーケティング力」です。

※地域再生は、人材活用と自立した組織運営、そして的確なマーケティングです。

※私は、直接現場に入って実績を生み出すパートナーになります。



経営資源活用モデル

## ○ 参考

### 取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

### 関連ホームページ

アイデアパートナーズ(株)	<a href="http://www.idea-p.co.jp/">http://www.idea-p.co.jp/</a>
人・企業・地域を元気に！ いでっちの奮戦記	<a href="http://blog.goo.ne.jp/idea-p/">http://blog.goo.ne.jp/idea-p/</a>
おとなの長旅・九州	<a href="http://www.nagatabi.jp/">http://www.nagatabi.jp/</a>